

## 仕様書

ロボット・AI部

### 1. 件名

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術／分野間データ連携基盤の在り方等に関する調査・検討

### 2. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」（以下「本プロジェクト」という。）のサブテーマの一つである「分野間データ連携基盤技術」（以下「本サブテーマ」という。）では、国、地方公共団体、民間などで散在するデータ基盤を連携させ、分野・組織を越えたデータ活用とサービス提供を可能とする分散型分野間データ連携の実現を目指している。

本調査は、本サブテーマに係る目標・成果物等を第3者視点で整理・分析・とりまとめを行うこと、代表的な国内外のデータ連携基盤の動向調査を行うこと、本サブテーマの運営支援を行うこと等を通じて、分野間データ連携基盤の在り方等について検討・提案することを目的とする。

### 3. 内容

内容は以下の通りとする。

なお、詳細な内容については、本サブテーマのサブプログラムディレクター（以下「SPD」という。）及びNEDOと協議して決定するものとする。

#### （1）分野間データ連携基盤の在り方に関する調査・分析

本項目は、分野間データ連携基盤の在り方を検討するSPD直轄のタスクフォースを設立・運営し、調査・分析・検討を進める。タスクフォースには本サブテーマの分野間データ連携基盤関係者に加え、本内容のエキスパートとなる外部有識者を委員として含めること。

なお、業務内容には、資料の整理、委員等への連絡、委員謝金・交通費支払い等の事務局業務を含むものとする。ただし、分野間データ連携基盤関係者が本項目の検討に携わるために要する経費については、本契約によらず、関係する他の契約によるものとする。

#### ① 分野間データ連携基盤に係る調査・分析

SPD及びNEDOから提供される本サブテーマの分野間データ連携基盤（以下「SIPデータ連携基盤」という。）に関する検討資料を参照するほか、SPD及びNEDOが指定する

会合（本サブテーマの参画機関との間で月に3～4回程度開催される定例的な打合せを含む。）への参加を通じて、第3者視点でSIPデータ連携基盤に関する情報の収集・整理を行うこと。

また、データ連携基盤に係る取組を行っている組織であるInternational Data Spaces Association (IDSA) 及びGaia-X European Association for Data and Cloud AISBL (Gaia-X) について、主たる取組の技術的事項並びにその運営、意思決定体制、ビジネスモデルなどの経営に関する事項を調査すること。

技術的事項についてはSIPデータ連携基盤と、経営に関する事項については我が国の分野間データ連携を推進する組織と比較し、その特徴、差異、社会実装に向けた強み・弱み等を整理すること。なお、コネクタ、来歴管理、トラスト（ID認証等）、ビジネスモデル、体制、将来計画等の点については特に詳しく調査や比較を行うこと。

## ② 本サブテーマの目標等に係る調査・分析

上記①の成果も踏まえ、本プロジェクトの開始時点（2018年度）と現時点の分野間データ連携基盤に関わる国内外の社会情勢及び技術動向を整理すること。また、開始時点（2018年度）と現時点の本サブテーマの目標\*について、それぞれの時点における妥当性や変遷の妥当性等を客観的に分析・評価すること。

加えて、内閣府及びNEDOが設置している本プロジェクトに係る各種評価会議において評価委員より示された意見等の内容を分析し、取り入れるべき意見等について理由を付して整理すること。

上記事項を総合し、現時点の目標について異なる目標設定が適切と認められる場合には、理由を付してその修正提案を示すこと。なお、修正提案は2022年7月末までに一次提案を行うこと。

※内閣府が定めている本プロジェクトの研究開発計画に記載された目標

## ③ 分野間データ連携基盤の在り方に関する検討

上記①②の成果を踏まえつつ、主に分野間データ連携基盤の運営、意思決定体制、ビジネスモデル等の経営に関する事項を起点として、「分野間データ連携基盤」のあるべき姿について検討し、複数の案を提案すること。

なお、それぞれの提案には、次の事項を含むこと。

- ・分野間データ連携基盤の制度設計に関する事項（運営組織体制、国内連携体制、国際連携体制、ビジネスモデル等）
- ・あるべき姿に適した分野間データ連携基盤の技術アーキテクチャに関する事項（全体アーキテクチャ、API仕様等）
- ・想定スケジュール（今後10年程度のスケジュールを想定）

## (2) SIPデータ連携基盤の技術仕様書のとりまとめ

(1) ①と同様に、SPD及びNEDOから提供されるSIPデータ連携基盤に関する検討資料を参照するほか、SPD及びNEDOが指定する会合（本サブテーマの参画機関との間で月に3～4回程度開催される定例的な打合せを含む。）への参加を通じて、SIPデータ連携基盤に関する情報の収集・整理を行い、SPD及びNEDOと協力し、SIPデータ連携基盤に関する技術仕様書の出版に向けた編集及びその他とりまとめを行うこと。

当該編集等に当たっては、おおむね次のような項目立てを想定しているが、詳細はSPD及びNEDOの指示に従うこと。

- ・分野間データ連携基盤の理念
  - ・SIPデータ連携基盤のアーキテクチャ
  - ・SIPデータ連携基盤インターフェース仕様
  - ・SIPデータ連携基盤プロトコル仕様
- 等

## (3) 本サブテーマの運営管理支援

### ① 進捗管理に関わる支援

(1) ①と同様に、SPD及びNEDOから提供されるSIPデータ連携基盤に関する検討資料を参照するほか、SPD及びNEDOが指定する会合（本サブテーマの参画機関との間で月に3～4回程度開催される定例的な打合せを含む。）への参加を通じて、SIPデータ連携基盤に関する情報の収集・整理を行うこと。また、必要に応じて本サブテーマの参画機関へのヒアリング等を行い、本サブテーマの進捗に関してSPDが把握すべき情報を、定量的かつ定性的に整理・分析すること。

なお、進捗の遅延等の問題・リスクが認められた場合には、SPD及びNEDOに報告するとともに、適宜参画機関及びNEDOと相談し、その解消に向けた対応策を提案するなどにより、SPDを支援すること。

### ② 外部機関等との連携に関わる支援

(3) ①の支援のうち、特に外部機関等との連携（SIPの他課題参画機関との連携、SIP外の機関との連携等を想定）を推進する上で生じた課題・要望等については、詳細に状況の整理等を行い、当該機関との調整等を行うこと。

### ③ 成果物を活用した情報共有に係る調査等

本サブテーマで開発した「SIPデータ連携基盤」をツールとして、本サブテーマの参画機関等の関係者各自のデータ基盤間でファイル交換等（情報共有）を行うために必要な要件（各種データ基盤へのアクセス方法、セキュリティ対策を含む）を

整理すること。

また、整理結果を踏まえた改善点等を抽出するとともに、本ツールの運用プロセスを策定すること。

#### 4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2023 年 3 月 31 日まで

#### 5. 報告書

提出期限：2023年3月31日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

#### 6. 報告会等の開催

委託期間中または委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上